

新潟大学の魅力と現在を発信

新潟大学季刊広報誌

六花



NIIGATA UNIVERSITY
MAGAZINE

— R I K K A —

2015.SUMMER [No.13]



新潟大学

在学生が作成する
在学生のための広報誌

新大広報

× 六花

コラボ号!!

“新大広報”は裏面から
ご覧ください

注目される研究報告
Campus Information
Campus Topics

特集

学生生活と その先にあるもの

新潟大学キャリアセンター長インタビュー

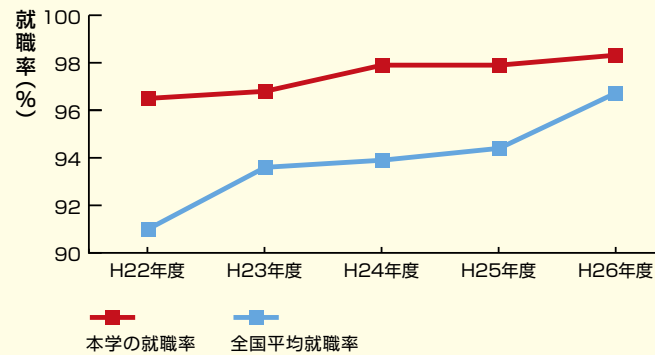
新大広報×六花 コラボ特別企画 在学生×OB・OG対談

新潟大学の進路データ

●過去5年間の卒業生 進路データ

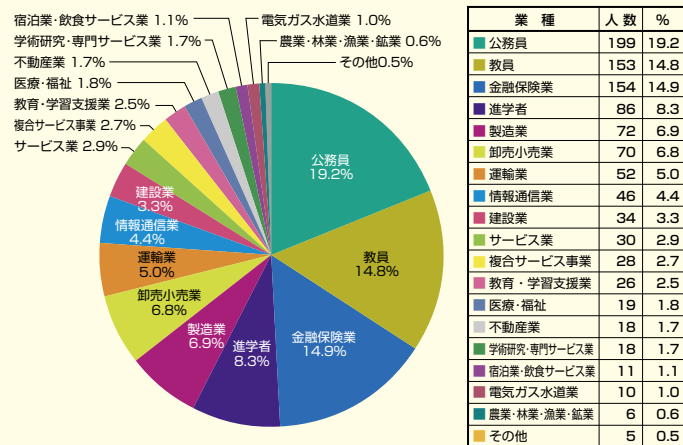
区分	卒業生	就職希望者	就職決定者	就職率	進学者
H26年度	2,390	1,641	1,613	98.3%	607
H25年度	2,307	1,587	1,554	97.9%	563
H24年度	2,350	1,573	1,540	97.9%	604
H23年度	2,332	1,483	1,436	96.8%	628
H22年度	2,370	1,500	1,447	96.5%	676

●本学と全国平均の就職率の比較

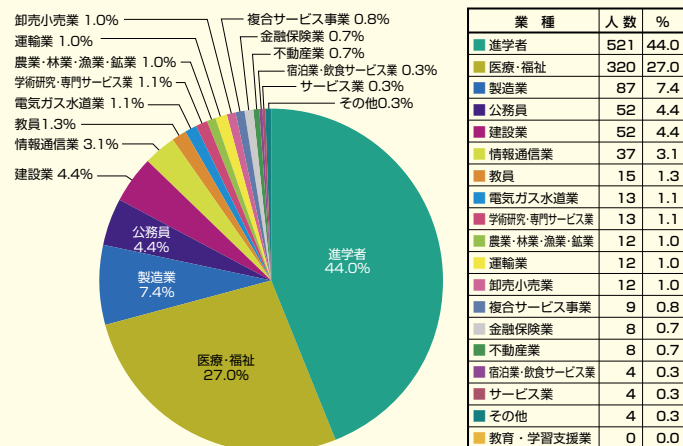


●平成26年度卒業生の進路状況

文系(人文学部、教育学部、法学部、経済学部) 合計1,037名



理系(理学部、医学部、歯学部、工学部、農学部) 合計1,183名



——就職活動では学生たちが番力を注いだことから、彼ら自身を汲み取るうとしてい

るのかもしれない。ただ、必要以上にそこを意識しすぎるのは違うのかなと。就職活動のために学生生活があるわけではありま



データを気にしますよね。学生生活の早い段階で就職活動について高い意識を持つのは望ましいことだと思

新潟大学キャリアセンターとは？

キャリアセンターは、全ての学部・学年が利用可能。学生一人一人に合ったきめ細かいキャリア形成支援を行っています。各種進路に関するガイダンスのほか進路相談、模擬面接、インターンシップ等の進路支援イベントを実施。さらにキャリア意識形成科目の授業を通し、広く社会に貢献できる人材の育成を目指しています。



特集

学生生活とその先にあるもの

学生生活での学びや経験は卒業後の社会でどう役に立つのか？
今号はキャリアセンター長が考える“実社会に繋がる学生生活”とは、
そして現役社会人のOB・OGと在学生のリアルな声をお届けします。

新潟大学キャリアセンター長インタビュー

——大学での学び全体が学生のキャリア形成に繋がっていく

——昨年度、新潟大学の卒業生の就職率は過去最高を記録しました。この背景についてどうお考えですか？

企業側の採用意欲が高まっていることもあり、やはり可能性のある人材として新潟大学の学生が評価されたのだと思います。

——就職後の社会で通用するキャリア形成が学生たちに求められているように感じます。それは学生生活のどのような場面を通して身につけていくのでしょうか？

大学で学ぶ時間がそのひとつの機会であることは当然言えると思います。しかし、そういった時間だけがキャリア形成に関わるわけではありません。広い意味では学外の活動も含めて、学生生活での学び全体がキャリア形成に繋がるわけです。

——学生に求められる変化に対応し続ける力と社会人基礎力

——昨年度の新潟大学の就職データを文系・理系で比較すると、就職先の業種について異なる傾向があると感じます。「学部での専攻内容と卒業後の就職先や仕事があ

う繋がっていくのだろうか」という部分に不安を感じる学生も多いのではないかと思います。

その点は学部によって捉え方が異なるのかもしれませんが。例えば人文学部の学生の志望動機には、「大学で自分がやりたい学問があるから」という場合が多い。特に文系職の採用は学部不問がほとんどです。必ずしも学部選びにおいて就職や将来の仕事が一番の理由になるとは限らないと思いますよ。

——では、学生に対する企業や社会からのニーズにはどのようなものがありますか？

よく聞くのは「たくましい人材がほしい」という言葉です。これは社会の変化の中で生き抜いていくための力を意味するのだと思います。一度就職すればその先は安定というイメージが持てなくなってきた現代で「学び続ける力」、そして「常に変化に対応し続ける力」を学生時から身につける必要があると思います。

——近年「社会人基礎力」という言葉をよく聞きますよね。「社会人基礎力」は「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として経済産業省が提唱しているものです。噛み砕くと、課題探究力やコ

コミュニケーション能力という言葉になりそうです。自分で問いを立て解決する力、自分の意思を伝えたり他者の言葉に耳を傾けられる力。それはどの分野でも共通して求められる汎用的な力だと言えます。新潟大学では多様な授業が展開されていますから、それぞれの専門分野や学部の方針に沿って学べば、4年間かけてきちんと身につけてもらえるものです。その力を最も養うのは「自分が熱心に取り組んだものはこれだ」と他者に向かって自信を持って語れる体験なり経験でしょう。そこで学んだことが自分にとってどういう意味を持つものだったのかを論理的に説

明できることが望ましい。それは必ずしも学業に限らないと思います。

熱意を持って取り組んだ経験は職種を問わず将来に繋がっていく

——新潟大学の学生は企業側からどのような印象で評価されているのでしょうか？

「真面目で素直」「基礎学力がある一方で、おとなしい」という声を聞きます。もう少し積極的に自分を主張する部分が必要だと思われるようです。

——社会のニーズの中で学生時代のどんな体験が就職活動やその先の社会人生活で強みになるのでしょうか？



Cover Photo

例年実施している学生モデルオーディションで今年度選ばれた本学の学生5人。広報誌やホームページなどで活躍してもらいます。本学の学生らしいさわやかさを期待。

新潟大学副学長(学生支援・就職支援担当)
教育・学生支援機構 キャリアセンター長
松井克浩 教授

まずは夢中になれるものを見つけ
失敗も糧にして取り組む
それが結果的に将来に繋がる





在学生

なんば ゆうた

難波 勇太さん

新潟大学工学部3年生で、『新大広報』の編集スタッフ。石戸さん同様、旅行が好きだが、今は勉強が忙しくて旅の時間がなかなかないとか。新潟県新発田市出身。



在学生

いしだ ありさ

石戸 亜利咲さん

新潟大学人文学部2年生で、現在は日本アジア言語学を専攻。『新大広報』の編集に携わるほか、旅が好きで、以前は空手もやっていたという行動派。群馬県出身。



●対談&撮影場所：新潟大学中央図書館（五十嵐キャンパス）

OB

もてきりょう

茂木 亮さん

2010年春、新潟大学大学院自然科学科を修了。日清食品の研究職（商品開発）を経て、現在は（株）ファンケルの健康食品部門で活躍。新潟大学理学部在学中は就職支援サークルに在籍し、後輩のサポートに尽力。



OG

みやざわ あさこ

宮沢 麻子さん

2005年春、新潟大学人文学部を卒業し、新潟日報社に入社。広告局編成部、編集局学芸部、柏崎支局を経て2013年より編集局報道部に活躍。そのかわり、2013年8月に長男を出産され、母としても奮闘中。



石戸 なるほど。…お話を伺って、留学にこだわらなくても大丈夫なんだな、っていうことが分かりました（笑）。
茂木 そう。（学生時代に）何かを成し遂げたっていうことがあれば、自分の自信になるんだと思いますよ。
宮沢 まさに！ それで言うと、私は卒業生でした。卒業に向けてのゼミが楽しくて、学校に通い詰めでその卒業論を書きあげたときは「やり遂げたぞ!!」っていう達成感がありましたし。ちなみに、その卒業論が今の仕事につながったかは「まあ…直接は役に立ってませんが…」ってなるけど（笑）、あのと

きいろいろなものを積み上げたり乗り越えていった経験や教養があるから今、頑張ってる仕事もやっつけられるのかな、とは思いますが。その点、茂木さんは？
茂木 いろいろありますけど…一番は「友達作り」ですかね。新潟大学って、各地からいろんな人間が集まっているじゃないで



新大広報 × 六花 RIKKA 在学生 × OB・OG 対談

学生生活で抱える不安に 先輩がズバリ答えます!!

難波 僕も、今日対談する前

すか？ その中で、特に僕ら理系って、結構、学部内に引きこもりがちっていうイメージがあるから、それを打破しようと、サークル活動を通して文系学部の人と積極的に知り合うようにしたんです。その結果、今でも繋がりがあって友達ができ…先々月、（自分の）結婚式があって、そのときも皆が集まってくれて、おめでとぅ!!と祝ってくれました。そういう友人が作れるのも学生時代ならではだと思いますね。…二人は今、サークルとか部活は？

難波 二人とも『新大広報』という冊子の編集スタッフをしているんですが、やはりいろんな学部の人が集まっています。おもしろいですね。で、僕はもう一つ、イベントを企画するサークルでも活動中です。
石戸 私は、『新大広報』の他に国際ボランティアサークルに入っています。そっちでは広報のチーフ役で、いろんな人に話を聞いて記事を書くということをやっているんです。だから今日（新聞記者である）宮沢さんのお話が聞けて参考になりましたし…お二人の話から「将来って楽しみだな。熱中して仕事をするといいのはすごく楽しそうなことだな」と感じました。

宮沢 僕は、今日対談する前



は、日ごろの不安感とかあったりしたんですが、そこまで不安に思わなくていいんだと。今、自分がやっていることをまっしぐらやるのが将来に繋がっていくんだなと思いましたね。
宮沢 そんな風に感じてもらえたなら、とてもうれしいです（笑）。皆さんには本当に充実した学生生活を送ってほしいし、それが糧になり、その先に素晴らしい社会人生活が待っていると思うので…。
茂木 よく「学生のうちにしかできないことをやった方がいい」と言われるんだけど、それが具体的に何か、今の学生は分からなかったりすると思うんです。でも、実は日常生活がすでに学生らしさであり、友達と話したりするのもすごく大切なことなんです。なので、日々の何気ない瞬間も大事に、学生生活を存分に楽しんでください。

新潟大学基金のお知らせ ぜひご協力ください

学生の修学支援、国際交流活動等に活用しています。

※税法上の優遇が受けられます

●基金ホームページ

<http://www.niigata-u.ac.jp/kikin/index.html>

新大サポーター連携推進室

電話:025-262-5651（受付時間 平日9:00～17:00）

FAX:025-262-7796

E-mail:kikinjimu@adm.niigata-u.ac.jp



「新潟大学カード」入会受付中!

VISA付きの国際カード「新潟大学カード」。

卒業生と母校の絆を、いつもポケットに!

●新潟大学カードに関するお問い合わせ先

新潟大学全学同窓会事務局

電話:025-262-7891

（受付時間 平日10:00～15:00）

E-mail:dosojimu@adm.niigata-u.ac.jp

入会受付中



新潟大学 季刊広報誌 六花 RIKKA No.13 2015.Summer
発行/平成27年7月 編集/新潟大学広報センター (新潟市西区五十嵐2の町8050番地)
電話/025-262-7000 FAX/025-262-6539
Home Page <http://www.niigata-u.ac.jp/>
E-mail rikka@adm.niigata-u.ac.jp
新潟大学 Facebook <https://www.facebook.com/niigata.univ>

編集後記

今回は、学生スタッフが編集している在学生向けの広報誌「新大広報」との初のコラボレーションを行いました。特別企画の在学生とOB・OGの対談については、今も昔も変わらない学生の悩みや不安、そして社会に出てみて分かることなどを垣間見ることができました。学生時代に悩みはつきもの。悩みながらも迷わず学生生活を謳歌して欲しいと思います。(K.I)

このコーナーは新大広報学生編集スタッフが新大の部活・サークル活動を体験し作成した、チャレンジ魂あふれるレポートである!!
今回は自動車部へGO!!
インドア派な新大広報学生編集スタッフよ、風を感じろ!

自動車部

今回はモータースポーツの一種「ジムカーナ」を、同乗する形で体験させていただきました!!

今日はこのコースを走りました。
記録前にコースを実際に歩き、ルートを覚えながら、どう走ればいいかを考えるそうです。これを慣熟(かんじく)歩行と言います。

両手でヘルト左右の付け根部分をしっかりと持って、シートに体を固定します。

走行中は最高で時速60kmほど出るそうです。カーブ時は横の衝撃が強く、足で力いっぱい踏ん張りました。

いよいよ
出発!!

スタッフ感想

部員のみなさんの親切な対応のおかげで非常に楽しい体験になりました! 助手席に乗せていただく時はスピードに対する怖さなどがありましたが、一度走り出すとその爽快感は病みつきになるものでした! カーブを曲がる時に身体にかかる遠心力の感覚も印象的でした。1年生からOBの方まで、車のことや走ることが好きな方達ばかりで、和気あいあいとした雰囲気ていっぱいでした。

仲良し

1 2 3 4 5

青春

1 2 3 4

アクティブ

1 2 3 4

知的

1 2 3 4

スピード感

1 2 3 4 5を越える

スタッフ評価

1...まったく 2...少し 3...ふつう 4...かなり 5...はげしく

【取材・記事】伊藤・櫻井・渡邊

Report ◀ ▶ Interview

～ジムカーナとは～

モータースポーツの一種で、一般的に乗用車で競技することができます。一台ずつ出走して決まったコースのタイムを競います。他の競技と違うところは、コースが毎回変わり、一回ごとに設定されるということです。



●3年 高橋 巧さん



●2年 遠藤 寛幸さん

Q.活動日時と部員数を教えてください。

遠藤 ●部員数は24人で、毎週金曜日に、午後6時から部会を行っています。また、5月～10月には月に1,2回、ジムカーナの練習会があります。

Q.ジムカーナ用の車はあるのですか?

遠藤 ●特にありません。普段の足にも使っています。高橋 ●ジムカーナ自体、スポーツカーなどではなくても出来るような競技なので、いい意味で敷居が低いですね。

Q.自動車部に入ったきっかけは?

遠藤 ●工学部に入学したので、最初はその勉強の一環になるかなと思って入りました。実際、勉強したこと的应用にはなるのですが、今はただ勉強のためというより、自動車部を楽しんでいます。

Q.自動車部の魅力は何ですか?

高橋 ●自分や他の人と協力して車を自分好みに仕上げていけるのが楽しいです。その変化を感じられた時が、車いじりの喜びの瞬間。

遠藤 ●車は技術の塊なので、部品を少し変えるだけでも走りに違いが出ます。それが分かるって面白いですね。良くできてるなあ、と思います。

Q.車をいじるって、大変そうです…!!

遠藤 ●割と自由にいじれますよ。最初はよく分からないのですが、先輩に聞いたり、一緒にやってもらったりしているって覚えていきます。

高橋 ●お金をかけなくても変えられる部分も沢山あります。自分の腕が重要ですね。

Q.最後に、これからの目標を教えてください。

高橋 ●走りの方も積極的にやっていきながら、これからも、楽しく自分らしく、車いじりをしていきたいです。

遠藤 ●走る人、車をきれいにする人、整備するのが好きな人...いろんな人がいる中で、みんな一緒にやっていける部活に、これからはなっていけば良いと思います。

自動車部には学部・学年を問わず、様々なメンバーが所属しています。ジムカーナの練習会や長路旅行などその他たくさんの活動を通して、部員各自が運転技術の向上と自動車整備技術の習得を目指し、日々成長しています。



【自動車部公式サイト】
<http://www.geocities.co.jp/MotorCity-Pit/9471/>

※掲載情報は平成27年4月現在のも

編集後記

ハロー、エブリワン! 新大広報学生スタッフの山口です。今回の号の制作過程では様々な「初めて」がありました。手に取っていただいた方はもう分かると思いますが、『初めて』の新潟大学の同窓会向け広報誌である【六花】との共同制作。記事を作るに当たって『初めて』自分たちが取材をされることになりました。今回自分が担当した学生インタビューでは、『初めて』2人分取材を行い、記事を作成しました。多くの『初めて』はいくつかのハプニングをもたらしましたが、なんとか完成させることができました。『初めて』が「二回目」になった時に同じハプニングに戸惑わないように、今回の反省を活かして次号を作成したいですね。新大広報196号を手にとっていただきありがとうございます。新大広報編集スタッフ 山口 広大



※delikatesse(独)=美味しいもの

ひとりdeliのコーナーでは、多忙な毎日を送る新大生へお手軽レシピを紹介し、食に関する悩みを解決しちゃいます。今回は、夏にぴったり! だけど余りがちなそうめんを使った「野菜たっぷりそうめんチャンプルー」を紹介します。冷蔵庫にある具材で簡単に作れますよ!



野菜たっぷり そうめんチャンプルー

材料(1人分) (303円)

- そうめん …… 一束 (46円)
- ベーコン …… 適量 (48円)
- ゴマ油 …… 大さじ2/1 (16円)
- 和風顆粒だし …… 小さじ2/1 (11円)
- 醤油 …… 大さじ2/1 (8円)
- 塩コショウ …… 適量
- ニンジン …… 3cm程度 (17円)
- ピーマン …… 1/2個 (17円)
- もやし …… 1/2袋 (14円)
- ネギ …… 1/4本程度 (34円)
- 玉ねぎ …… 1/4個程度 (19円)
- 舞茸 …… 1/4パック程度 (24円)
- 椎茸 …… 2枚程度 (49円)

- ①野菜は千切りに、ベーコンは細かく切っておく。
- ②鍋にお湯を沸かしてそうめんを固めに茹でる。茹であがったらザルにあげて、冷水でしめる。
Point! 茹でるときはたっぷりのお湯で茹でましょう。お湯が少ないと、麺がべたついてくつき、風味が落ちます。
- ③フライパンにゴマ油(分量外)を敷いて、①を炒め、火が通ったら②のそうめんを加えてさっと混ぜ合わせる。
Point! ベーコンの代わりに豚こま切れ肉を使ってもよし! そのときは肉に火がしっかり通るように肉→野菜の順で炒めましょう!
- ④顆粒だし、醤油、塩コショウで味付けをして混ぜ合わせて炒める。
- ⑤仕上げにゴマ油を一回りかけて混ぜ合わせたら完成。
味が薄いと思ったら塩コショウで調整しましょう。



家にそうめんが
たくさん余っている...
何かアレンジ
できないかな?

そうめんを
食べ飽きた
石戸さん

コラム1

めんつゆアレンジ!

そうめんは「めんつゆ」をつけて食べる人が多いですね。「めんつゆ」は、だし、醤油、みりん(または日本酒)、砂糖がベースに作られていて、和食で使う調味料をバランスよく含んでいる万能なアイテムです。煮物、煮びたし、和風パスタ、親子丼、炊き込みご飯などを作るときに使ってみるのがおススメです。

コラム2

調味料の保存方法

意外と意識せずに保存している調味料。今回は調味料の正しい保存方法をお話しします。まずは常温保存できるものから。酢、みりん、油、砂糖、塩の5つは常温で保存ができます。いずれも高温多湿の場所は避け、戸棚等の冷暗所で保存しましょう。また、醤油、マヨネーズ、ケチャップ、ソースは未開封ならば常温保存が可能ですが、開封後は冷蔵庫で保存し、なるべく早めに使い切りましょう。特に、醤油は開封すると風味が落ちるので注意が必要です。次は冷蔵保存できるものを紹介します。味噌は冷蔵保存が望ましいですが、なんと冷凍保存もできます。

コラム3

栄養たくさん! きのこの力

きのこは食物繊維、ビタミンB群、ビタミンD2、ミネラルを多く含む健康食材です。ビタミンB群は糖質・脂質を代謝し、脂肪等の蓄積を抑えてくれます。また、きのこは低カロリーであるうえ、免疫力を高めたり、病気への抵抗力を高めたりする働きもあります。

監修: 教育学部 山口智子先生

【調理・取材・記事】大西・古井

今号の表紙の写真



祝! 新大ロボコンチーム準優勝!

表紙を飾っているのは、新潟大学工学部「ロボコンプロジェクト」のみなさんです。6月に行われた「NHK学生ロボコン2015」で全国の強豪が集うなか、見事に準優勝し、技術的に優れた大学に贈られる特別賞も受賞しました! 表紙写真に写っているのは大会に出場したピットメンバーの方々と、実際の部員は30人以上在籍しているそうです。詳しくは、今号の「六花」で紹介しているのでぜひご覧ください!

【学生編集スタッフ】

石戸 亜利咲(人文学部2年) 古井 璃紗(人文学部2年) 渡邊 侑奈(人文学部2年) 安孫子 陽一(医学部3年) 伊藤 伸也(経済学部3年) 大西 瑛子(人文学部3年) 櫻井 直道(人文学部3年) 佐藤 夏樹(人文学部3年) 千葉 麻子(人文学部3年) 難波 勇太(工学部3年) 山口 広大(教育学部3年)

【職員スタッフ】 大谷 めくみ(学生支援課) 石栗 真理子(広報室)

【新大広報 Back Number】http://www.niigata-u.ac.jp/profile/1/100_pamph/shindai_kouhou.html
新大広報のバックナンバーは上記のURLから閲覧することができます。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。

モバイルサイトは
こちら→



2015年夏号 [No.196] <http://www.niigata-u.ac.jp/>

編集・発行/『新大広報』学生編集スタッフ 新潟大学学務部・新潟大学広報室 印刷/株式会社第一印刷所

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

人文学部人文学科3年
坂井 亮
(サカイ リョウ)
新潟市南区出身。
初めての海外旅行先は
韓国でした。



上段：シンガポールでお話を聞いている様子。
中段：留学先でプレゼンしている様子。
下段：シンガポールで他の学生と交流している様子。

自分の既存の価値観を見つめ直す体験。

—どうして国際教養の副専攻を始めたのですか？

2年生の夏休みにカナダへ短期留学をしたんです。そのとき、留学先の学校で「なんで日本では部屋に上がるときに靴を脱ぐの」と聞かれてその場で答えられなかったんですね。シンガポールへ行ったときも「本当に日本の女性は働きづらいの」という質問に即答できなくて。それが悔しくて「もっと自分の国について学ぶ必要がある」と思い始めました。国際教養と聞くと外国の文化や外国語を思い浮かべる人が多いと思いますが、それだけではなく日本の文化や歴史についても学びます。

—なぜ留学しようと思ったのですか？

高校生のときから「大学生になったら絶対に海外に行きたい」と思っていたのですが、大学1年目で初めて韓国へ行ったとき、旅行先のコンビニで、店員が携帯をいじりながらレジを打っていたんです。日本では絶対にありえないですよね。でも、そ

のときの驚きが新鮮で、もっといろいろな国に行って他国の文化に触れてみたいと思うようになりました。その後、英語の勉強をするためにカナダへ、スプリングセミナーに参加するためにシンガポールへ行きましたが、どちらの国でもたくさんの驚きがありました。

—スプリングセミナーとは何ですか？

大学の留学プログラムの一つです。英語研修の他に、現地の日系企業を訪問して、そこで働いている方から直接お話を聞けるのですが、その時訪問した企業の方はみんな「海外で仕事をするためにはその土地の文化を受け入れて尊敬することが重要です」とおっしゃるんです。シンガポールは多民族国家で、様々な文化があります。その中でも、宗教で異なる文化は多いです。食事の制限など文化の違いに戸惑いましたが、まずはこういう文化もあるんだと受け入れる姿勢が大事なんだと思いました。

—坂井さんにとってグローバル化とは何ですか？

「他者を知り、他の文化を受け入れること。受け入れたうえで、自分たちの文化を発信していくこと」だと思いますね。他の国の人と接するときに、相手は○○人だから、とか、○○教だからという偏見はその人と接するときの障害になるんです。そういう偏見をなくして接することが大事なんです。相手の文化を受け入れることで、自分の既存の価値観を見つめ直すことはとても楽しいことですし、そのうえで自分たちの文化を見返すことにより、日本の魅力の再発見につながります。

QUESTION >>> 新大の好きな場所…中門からローソンまでの道

木がトンネルみたいになっているあそこを通ると、行きは「今日も頑張るぞ」、帰りは「今日も頑張った」という気持ちになります。

インタビューを終えて スタッフの感想

グローバル化とは「他者を知り、他の文化を受け入れること。受け入れたうえで、自分たちの文化を発信していくこと」だと語ってくれた坂井さん。相手を知るため、知った上で自分たちの文化を発信するため、日本について学び直してみたいかがでしよう？

大学生活を送るうえで、やりがいや目標をもって活動している、輝く大学生を紹介するこのコーナー。

今回は国際教養の副専攻を履修している坂井亮さんと、メディア・リテラシーの副専攻を履修している平出詩帆さんにお話を伺いました。副専攻を始めたことで、変わったこととは？

人文学部人文学科3年
平出 詩帆
(ヒライデ シホ)

新潟市南区出身。
情報化社会だからこそ大事なことは「常に疑うこと」だと思います。



上段：講義の一環で新潟日報の記事を作成したときのもの。
下段：集中講義で上古町を訪れたときの様子。

専攻とは異なる分野だからこそ得られるものがある。

—どうしてメディア・リテラシーの副専攻を始めたのですか？

『メディア・リテラシー』という言葉は、割と最近できた言葉ですね。聞いたことはあっても、内容が分からないからやってみようと思ったのがきっかけでした。

—副専攻ではどのようなことを学んでいますか？

メディア媒体そのものについてや、コンピューターの歴史、演劇についてなどメディアに関わるものを多岐にわたって学びます。自分の専攻だけでは触れようと思わなかったことにも触れられ、そういう面でも始めてよかったなと思っています。

—学んでいて面白いと思ったことはありますか？

私は心理学を専攻しているのですが、内容は科学によっているんですよね。でも、テレビなどのメディアで言う心理学は、相手の考えていることが分るとか読心術のようなイメージを持つ人が多いじゃないですか。こういう違いが出てくるところは面白いと思います。

—メディア・リテラシーとは何ですか？

ざっくりと言うと、『メディアとどうやって付き合っていくか』だと思います。今の世の中、メディアと全く関わらずに生きていくことはほぼできないと思うんですよ。常に自分なりのアンテナを張っておくこと、自分の持っている情報を更新しながら学び続けることが必要です。これからどんどんインターネットは必要になってくるでしょうし、どうメディアについて学んでいくのが大事になってくると思います。

—情報の取捨選択能力を磨くにはどうすればいいでしょう。

懐疑的な気持ちを忘れないことが大事だと思います。みんなが言っているからそれは正しい、という考え方は危険なんです。周りが信じているからと言ってそれを鵜呑みにすることはせずに、本当にそれなのか、反対している人はいないか、などいろいろな意見を拾うことが大事だと思います。また、発信者側と受け取る側に多少の齟齬があるということにも注意しなけれ

ばならないと思います。昨年、新潟日報の記事を作る講義があったのですが、取材相手はこういうつもりで言ったのに、記事では違うように書かれていることがあったんです。発信者側も情報を100%正しく伝えることはできないので、メディアで流れていたからその情報は正しいと考えるのは危ないと思います。

—インターネットを通じたコミュニケーションの取り方について。

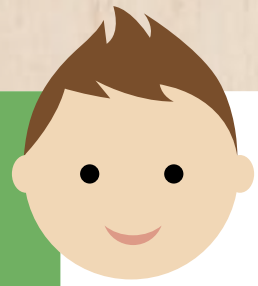
簡単に友だちと連絡が取れるようになったことは情報化社会の利点だと思いますが、利点ばかりに目がいきすぎている気がするんですよね。例えば、Twitterで「○○なう」とツイートするとそのツイートから本人や住所の特定ができてしまうんです。インターネットに発信した情報は世界に向けても発信されているということを意識する必要があります。これから社会に出て行く私たちの世代は、インターネットに関係した問題にどうやって取り組むのか考える必要がありますよね。

QUESTION >>> 新大の好きな場所…図書館

図書館の雰囲気が好きです。調べ物ができて落ち着くんですよ。

インタビューを終えて スタッフの感想

「常に自分なりのアンテナを張り、情報を更新しながら学び続けることが必要」だと平出さんは語ってくれました。次から次へと情報が更新される今の社会で取り残されないためにも、今一度自身のアンテナのメンテナンスを行ってみるのもいいかもしれませんね。そうすることで、今まで見えなかったものも見えるようになるかもしれません。



農学部

応用生物学科

●後期履修単位 12単位●

Yさん

この講義はどちらもフードスペシャリストの資格を取るために必要となります。フードスペシャリストとは食の本質が「おいしさ」や「楽しさ」、「おもてなし」にあるということ

を学び、食に関する幅広い知識と技術を身に付けた食の専門家のことです。

専門調理実習Ⅰ

もともと教育学部の授業で毎週和洋中の料理など、その季節に合ったものを作ります。調理に関する高度な科学的知識と調理技術を習得するための授業です。その中で、行事食などの食文化やテーブルセッティング、テーブルマナーを理解していきます。



農産物流通論

農学部農業生産科学科の講義で、農産物の流通の歴史や制度的なシステムを学び、一般的な動向を学びます。具体的には、主に国家の規制の強い米の流通や、卸売りを中心とした青果物流通などについて、現状から問題点の探求を行ったりします。



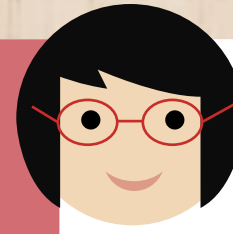
ある金曜日の時間割

- 1 時限 専門調理実習Ⅰ
隔年開講のため今年度休講
- 2 時限
- 3 時限 農産物流通論
開講番号 150A1103
- 4 時限
- 5 時限

やりくりのコツ

調理実習は、普段の調理と違って手順が多く大変だったけれど、ひとつの料理を完成させることはとても楽しかったです。私は部活もバイトもしているので、あまり遊び過ぎないよう気を付けています。空きコマがでないよう授業はまとめてとるようにして、そこにバイトを入れています。

Fri



医学部

医学科

Dさん

医学部医学科の時間割について

医学部医学科の時間割は他の学部と違って特殊なものになっていて、毎週固定の授業時間割になっていません。例えばこの日は呼吸器系と法医学を学びましたが、同じ曜日の同じ時間でも何週間後には内分泌・代謝系など別分野を学ぶといったこともあります。また授業は2時間分の授業時間で1つの科目を学ぶことになっています。



授業解説

医学科3年生の後期は、3年前期までに学んだことを実際の診察ではどう応用していくかという臨床に即した授業になります。この日の授業は呼吸器系と法医学。呼吸器系では今問題になっている喘息であったり、この国の五大死因にも含まれる肺炎の原因やスタンダードな治療法などを学びます。法医学では医学の面から犯罪を分析する司法解剖や、医師としては避けられないヒトの死因の解明などが主な学習項目になっています。



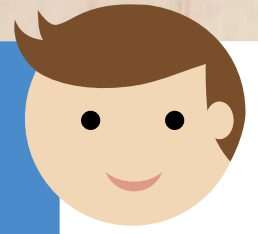
ある月曜日の時間割

- 1 時限 呼吸器系
- 2 時限
- 3 時限 法医学
- 4 時限
- 5 時限

やりくりのコツ

学ぶことが膨大な医学科では、2年生以上で空きコマはありません。教科によっては他の学部の卒業研究と同様、夜遅くまで残って作業や勉強をしています。予習復習のための時間が確保できないことも多いです。そんな医学科を乗り切るポイントは、「いかに授業時間内で多くのことを吸収できるか」にかかっているでしょう。

Mon



工学部

福祉人間工学科

●後期履修単位 22単位●

Iさん

生体信号処理

MRI(核磁気共鳴画像法)、超音波画像診断装置、X線CT(コンピュータ断層撮影)などといった画像処理技術を応用した医療用画像機器についての概要を学びます。これらの装置がどのように生体情報を検出し可視化しているかといった原理や理論、システム構成について学ぶことにより「画像処理工学」応用領域への理解を深める助けとなります。

支援機器工学

高齢者や様々な障害を持つ人々がより快適に日常生活を過ごす助けとなる支援機器について学びます。身体の一部の機能が低下した場合、その機能を補うためにはどのように代行、支援または増強をするのが適切かということを考えながら、それらの実現のために必要な工学技術や環境整備について議論していきます。



ある水曜日の時間割

- 1 時限
- 2 時限 生体信号処理
開講番号 150T4031
- 3 時限 支援機器工学
開講番号 150T4020
- 4 時限
- 5 時限

やりくりのコツ

1,2年次は履修する科目が多く忙しかったのですが、3年次後期にもなると授業は以前ほど多くなく、課題やテスト勉強などもそれほど大変ではありません。ただ運動部に所属しているので、その大会前は忙しくなります。空きコマは課題を行ったり、部活動の自主練習をして過ごしています。

Wed

おすすめ Gコード科目

履修できる授業に垣根のない新潟大学では、Gコード科目としても様々な教養科目の履修が可能です。数千科目のうちのほんの一部ですが、特徴的な授業を紹介します。

大学生活を考える

第2学期水曜日3限 開講番号 150G3718

こちらの授業は1年生しか受講することができません。新潟大学には9つの学部がありますがそれぞれ学ぶ内容が違うので、他学部の学生と一緒に授業を受ける機会はありません。しかし、この授業は違う学部の学生とともに受講することができます。充実した大学生活とは何か、レポートの意義、書き方や働くとはどのようなことかを考えることができます。さらに、鍋バトルやクリスマスパーティーを楽しむ授業外の時間もあります。授業はグループワークで行うため、他の学部の人と仲良くなることができ、人脈が広がります。大学生になって半年たった時点で自分を見つめ直し、意義ある大学生活を考えたい方はぜひ受講してみてください。

新聞ジャーナリズムと社会Ⅱ

新潟日報社との社会連携授業

第2学期火曜3限or4限 開講番号 150G3740(火3)、150G3736(火4)

ネットにより膨れ上がった世の中の情報量。何を信じてよいのかも分からなくなった今だからこそ、基本的なメディアである新聞に立ち返って、現代に溢れかえる情報とのかかわり方を考えていきます。「自分のモノサシ」をもって情報を評価し、社会の問題に向き合っていくにはどんな姿勢を持てばよいか、ジャーナリズムの現場に立つ新潟日報社の方をお招きし、講義をしていただきます。

時間割紹介、いかがでしたか？ 大学では自分で時間割を立てるため、興味のある授業を自由に選択することができます。自分の視野を広げ、学びを深めるチャンスなので、自分が興味を持ったものにはぜひ積極的にチャレンジしてみてくださいね。

【取材・記事】石戸・伊藤・櫻井・佐藤・古井・山口・渡邊

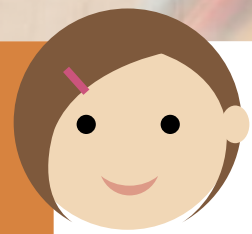
きいちゃいました! 他学部生のとある1日

新潟大学ってどんな専門科目があるの? 後期は何を履修すれば良いのだろう?

今回はそんな疑問に答える特集です! 新潟大学はどの学部生も他の学部の授業科目を履修することができますが、今回はより専門性の高い講義を履修している3年生に絞り込み、各学部の主な専門科目の内容や、時間割組立のワンポイントアドバイスを紹介してもらいます。

また、“とある1日”として実際の時間割を抜粋し、空きコマなど1日のやりくりについても紹介しているので、後期の履修計画に役立ててくださいね! 夏休み明けのキャンパスライフも充実させましょう!!

大学の講義は、学年が上がるごとに専攻ごとの専門性が増していきます。例えばどの学部でも1、2年のうちは各専門の科目の他に、自身の興味がある教養科目を履修していきますが、3、4年生になるにつれて専門科目を履修する比重が増えます。多くの文系学部では、2、3年生頃から専門科目の他にゼミが本格的に始まります。基本的にゼミは少人数で、担当教員を交えてある議題について、発表または討論を進めていきます。一方、理学部や工学部をはじめとする理系学部では、学年が上がるにつれて実験を行う授業が増えていきます。また学科によってはフィールドワークを行う場合もあります。



人文学部

人文学科

●後期履修単位 28単位

Aさん

高校1種(地理歴史・公民)の教員免許取得に必要な授業を中心に時間割を組み立てています。

民俗学概説B

儀礼伝承や年中行事といった民俗事象を先生がやさしく解説していただきます。講義中に学生が持ち寄った意見や感想を聞く時間があり、1つの民俗事象に対する様々な考え方を知ることができます。教員免許「地理歴史」に関する単位となり、教育現場で生徒たちに示せる例の幅が広がると思います。



宗教思想史B

イスラム教の思想史を中心にその教義、儀礼、歴史などを学び異文化理解を深めます。先生の解説に引き込まれる楽しい講義です。この講義は教員免許「公民」に関する単位になります。



ある火曜日の時間割

1時限

2時限 民俗学概説B
開講番号 150H5151

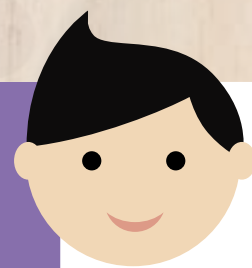
3時限

4時限 宗教思想史B
開講番号 150H5411

5時限

やりくりのコツ

教員免許取得に必要な単位を効率よく取ろうとする場合、領域の近い科目を選ぶことで学ぶ知識同士が結びつき、より楽しく学習することができます。レポートの作成も楽になります! 卒業要件単位を取得しつつ教員免許取得と教員採用試験の準備も行うのは大変ですが、忙しいと感じる心は置いてきました。そうでもしないとこの戦い(教採合格)には臨めません!



経済学部

経済学科

さん

●後期履修単位 22単位

演習ⅡB

いわゆるゼミです。経済学部では1年の終わりに所属ゼミを決める必要があります。先生が専門としている分野によってゼミの内容もさまざまで、ミクロ経済学やマクロ経済学、あるいは特定の国の経済について学ぶゼミや財務諸表を使って企業を分析するゼミもあります。また、ゼミ内で発表をする場もあり、プレゼンテーション能力を養うことができます。



経済学特殊講義(野村證券寄付講義)

この講義はオムニバス形式で、野村證券グループで働いている方に講師としてお越しいただき、金融や投資についてお話しいただきます。実際に金融の現場で働いている方の「生の声」を聴くことができる講義とあって、非常に人気のある講義です。また、講師の中にはこれまで新潟大学のみならず、さまざまな大学で講義をされた経験がある方もおり、時事問題なども分かりやすく解説していただきます。おすすめの講義のひとつですね。



ある木曜日の時間割

1時限

2時限 演習ⅡB
開講番号 150E1126

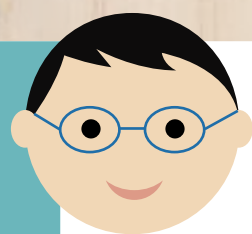
3時限

4時限 経済学特殊講義
開講番号 150E1207

5時限

やりくりのコツ

このような時間割の日は、お昼休みや3限を有効活用しましょう。次の講義の資料は各講義棟のパソコン室などで印刷できますし、図書館で本やパソコンを使って課題もできます。休憩するときは学食や学内のコンビニ、生協、図書館1階のカフェも良いですね!



理学部

自然環境科学科

Yさん

●後期履修単位 16単位

適応生物学

生物がどのように周りの環境を認知し、外界の刺激に対してどのように反応するのか、またなぜそのように反応するのかを学んでいきます。基礎生物学で学んだことを活かし、より専門的なことを学んでいくことになります。



自然環境科学実験C

環境を把握するために環境中に存在する様々な物質を計測する手段である、電磁波のスペクトル測定のスเปクトロメトリーや、様々な物質が混在する複雑な混合系から個々の物質を分離・計測するクロマトグラフィーの基本原理や装置の操作方法について学びます。また、これらの技術が実際の環境分析の現場でどのように用いられているかを学ぶため、環境科学研究調査を行っている新潟県保健環境科学研究所などの施設を見学に行くことがあり、とてもよい経験ができます。



ある木曜日の時間割

1時限

2時限

3時限 適応生物学
開講番号 150S6013

4時限 自然環境科学実験C
開講番号 150S6029

5時限

やりくりのコツ

授業で何か分からないことがあったら友達や先輩に聞くことです。またある程度実験の予習をしないと、何も分からないままただ作業をするだけになってしまいます。授業は午後からなので、午前中のうちに授業の準備をしています。この日は部活動がありますが、そういった日は授業の復習や実験の予習をしていると寝る時間も少なくなるので、時間があるときになるべく休息をとるようにしています。

新大広報

2015年 夏号
No. 196

【特集】

きいちゃいました! 他学部生のとある1日



【連載】

学生Interview!!

チャレポ!! (Challenge&Report)

ひとりdeli



新大広報



六花

新潟大学季刊広報誌
— R I K K A —

卒業生をはじめ広く社会に新潟大学の魅力と現在
(いま)を発信する季刊誌“六花”とのコラボ号

“六花”は裏面からご覧ください。



新潟大学